広報
さめがわ
昭和57年
2月号
No. 338
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

たくましき後継者の育成に屋内運動場を



青生野小学校には昭和34年に建築された僻地集会室があって、この建物が講堂や体育館の役割を果してきました。

しかし22年の歳月を経て老朽化が進み、現在の体育や競技にも適しない構造なので、村は昭和56年度事業で正規の屋内運動場建築を企画し、先頃工事は完成したので、1月18日よろこびの竣工式が行われました。

建築面積は497.14㎡と小規模校の割には広く、装備も構造も最新型で立派に出来上りました。

事業費5,697万余円の内5,030万円は国から交付される電源立地促進対策交付金が充当されました。

- ⊙ 2月16日　納税表彰式
- ⊙ 2月16日～3月15日　所得税の確定申告
- ⊙ 2月28日～3月13日　春の全国火災予防運動

今月の人口
（2月1日現在）

		前月比
人口	5,603	(＋6)
男	2,791	(＋3)
女	2,812	(＋3)
世帯	1,137	(　0)





1月6日は全国的に消防の出初式が行われる日です。わが村でも漂烈の寒気を突いて消防車による分列行進やパレードがあり、来賓多数臨席のうえ開発センター前広場で通常点検や優良団員、無火災分団の表彰などが行われました。

表彰者は次のとおりです。

◇優良団員表彰▷湯座照雄▷矢吹光雄▷白坂久幸▷星一弥▷関根正▷関根市男▷蛭田勝二▷国井俊治▷芳賀光美▷中川西一男▷我妻一男▷青戸孝夫▷吉成義郎

◇無火災分団表彰▷第三分団（8年1月）▷第二分団（7年4月）▷第六分団（5年）▷第1分団（3年）

【感謝状贈呈】

◇一般功労者▷関根乙夫▷前田英雄

◇退職団員▷大河内平▷円井栄一▷芳賀重光▷円井満正▷金沢豊▷国島武士▷高木正則▷鈴木輝司▷江田一夫▷増子久美▷鈴木正秋▷高坂章▷鈴木幹宏▷藤田英昌▷白坂重雄▷石井好美▷田子一夫▷舟木春吉▷関根昭八▷水野茂男▷関根勝義▷関根孝之助▷我妻福雄▷我妻清治▷赤坂基▷蛭田吉郎▷下重正佳▷芳賀忠雄▷藤田美喜男▷鏑木正昭▷羽田義美▷中川西吉正▷生田目一義▷鷲野谷敏男▷長久保利生▷赤坂虎男▷石井栄▷鷲野谷弘行▷土手内隆男▷（故）吉田良一

村の歩み (34)

村の商工業の皆さんが待つこと久しかった商工会館が、村の中心地新宿地内目抜きの場所に、見事に完成しました。

白亜清楚ですっきりしたデザインも美しく立派な出来ばえであります。

一月二二日の落成式は商工会創立二〇周年記念式典をかね、山村開発センターで盛大に挙行されました。

この式典には特に松平知事さんがご臨席になり、衆議院の八田貞義先生、渡部恒三先生初め多数の来賓が出席されるなど稀にみる盛典となりました。

二〇年前、村の青年研修所の二階の狭い一室に、ささやかな事務所を開いた商工会が、今日の成長を見るに至ったかげには、役員の皆さんの大変なご苦労があり、会員の皆さんの熱心なご協力と努力が積まれていることに思いをはせ、心から敬意を表すものであります。

中小企業の社会的役割に期待

村長　石田卯子八

二〇年といえばまさに成年に達した成人で、これからの一層の努力と精進が期待されます。

さてわが村は遠い昔から農林業の村として歩んできましたが、日本経済の高度成長期以降は山村農業の構造に画期的な変動を生じたことはご存じの通りであります。

若年壮年の労働層が都市に吸引されたことは勿論ですが、農地の基盤整備が進み、農作業は機械化省力化され、必然的に生ずる余剰の労働力は他に消化の場を求めざるを得なかったのであります。

それが出稼ぎ、転住を余儀なくされる形で、人口過疎の要因をなしたことは否定できません。

もとより過疎の原因は複雑多岐にわたり、農山村における出生数の減少、生活環境の未整備などがあげられます。

これについては種々対策も講じられておりますが、この際農業の構造的改革に一段と英知と努力を傾けることが重要であり、新しい地場産業の振興によって人口の維持定着に果す役割を高く評価すべきであると思うのであります。

関係者皆さんの努力によって村内には縫製、電器、精密機械など、また林産の一部門としての菌茸等の生産加工が新しい地場産業として成長しつつあります。

これらの軽工業、加工業が村の生産所得を高め、定住人口の維持増加に果す役割は次第に増大するものと考えられ、期待するところが大きいのであります。

これからの中小企業の振興こそ地域社会の調和のある発展に欠くことのできない要素であることを銘記したいものであります。

行政相談

二月二〇日（土）
午年一〇時～正午
山村開発センター
相談員　緑川　操

おめでた

一二月

反田　大平　信一　父大平政信
岫長　北條　雄平　父北條利雄
水口　大竹　裕美　父大竹卯一
大石草　鈴木　脩也　父鈴木芳保

一月

新宿　溝井　賢一　父溝井昭次
火打石　佐藤　賢二　父佐藤恵一
棚橋　関根　智　父関根茂保
大戸中　小松希代江　父小松恵一
虹ケ沢　石井　正子　父石井正一

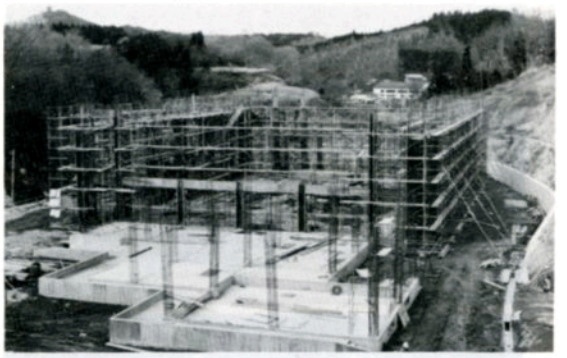
おくやみ

一二月　年令世帯主

沼野沢　本郷　暉弥84歳本郷栄治
遠ケ竜　佐藤　ハル87歳佐藤千代治

一月

鍬木田　栗原　康弘0歳栗原元己
青生野星　勝美69歳星　弘
辺栗　生田目イチ71歳生田目通
本坂　藤田佐一郎80歳藤田一夫
伊柳沢　藤田　和昭49歳藤田　進
真坂　金沢八郎右エ門88歳金沢一良



57年9月完成を目ざして着々工事が進む
農業者トレーニングセンター（宿ノ入地内）

新農業構造改善事業
農業者トレーニングセンター工事
着々と進む

新農業構造改善事業で昭和五六年度から二か年継続で村が建設中の農業者トレーニングセンターは、昨年九月に着工しましたが、工事は順調に進み三月末には、アリーナ（運動場部分）の屋根の鉄骨組立てまで出来上る予定です。

四月からは引き続き屋根、内装工事等にかかり九月上旬には完成を見込んでおります。

アリーナ部分の床面積は一、〇八〇㎡あり、バレーボールが三面バスケットボールで一面、バドミントンで四面、テニスで一面とれる広さがあります。このほかにトレーニングルーム（一〇四・五㎡）には体力増強の器具なども揃える予定で、村民の皆さんの健康づくりの場として、また村民融和の場として利用されます。





商工会創立20周年と会館の落成を祝う祝賀式典は、1月22日山村開発センターで盛大に挙行されましたがこの日松平知事さんは中島村の商工会館落成式に午前中出席され、午後わが村にお出になりました。

先づ新築された商工会館で石田村長、藤田会長の出迎えをうけ、館内を視察された後、商工会員や来賓多数が待つ山村開発センターの式場に臨席されました。

式は1時30分に開始され、商工業振興に貢献された功労者の表彰や感謝状の贈呈があり、続いて知事さんの祝辞がありました。

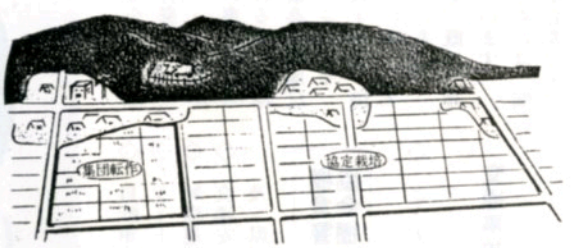
次に石田村長、衆議院議員八田貞義先生、渡部恒三先生その他の祝辞があり、最後に早川光久資金部長の発声で万歳を三唱し、盛典の幕をとじました。

新農業構造改善事業のしくみ
作付栽培協定とは―

鮫川村では、昭和五四年度に新農業構造改善事業を実施する地区の指定を受け、昭和五五年度から五か年計画で事業を進めています。

この事業の中には農業者トレーニングセンター、葉たばこ育苗施設や集落センターのように建物を建てたり、運動広場を造成したり、圃場整備事業を行ったりするハード事業のほかに、新農構事業実施地区の農業の改善を推進する「構造改善推進事業」というソフト事業があります。

村では、集落センターや運動広場等を設置した地区や圃場整備を実施中の集落（塚本、西部、塩倉、岩野草、西山、馬場、大塩、遠ケ竜、中沢、渡瀬、江竜田）の農家の方々が「作付栽培協定」を結ぶ事業を進めています。



作付栽培協定というのは、農用地の適正な利用管理労働力の合理的な分担、機械施設等の有効利用をはかるため、一定の農用地に、作物を作付栽培することについて協定を結ぶことです。

農家の方々がお互いに話し合った上、理解と納得のもとに約束を締結し、協力して、農業構造の改善をはかるための事業です。

この協定を進めるにあたっては、集落内でよく話し合いをして、一定の区域に同じ作物を作るようにしたり、また集団転作をしたりして、生産性の向上を図ることになりますが、併せて転作奨励金に団地化加算金が付きますので大変有利になります。



1月26日の文化財防火デーに当って、県の重要文化財に指定されている薬師如来立像を安置している富田薬師堂で、村の消防分署と地元消防富田分団が出動して火災防御訓練を行いました。

隣接の富田小学校児童や近所の人たちも参観して有益な訓練でした。

全国一斉春の火災予防運動

2月28日～3月13日まで

「毎日が防火デーですぼくの家」

毎日この季節になると、空気が乾燥して火災のおこりやすい日が続きます。特に山火事防止に注意しましょう。

一　山林に入る際は、タバコの投げすてはしないこと。

二　注意報や警報発令中は焚火、火入れなどはしないこと。

三　火入れをする際は、前もって消防署に届出て許可をもらうこと

四　家の回りで、紙くずや燃えやすい物を燃やすときは、ドラム缶や焼却炉などで燃やすこと。又消火器や水バケツを用意すること

〃火事と救急車は一一九番に通報すること〃

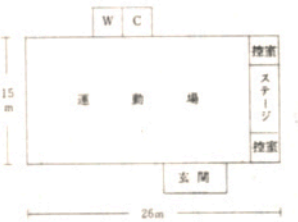
（棚倉消防署鮫川分署）





青生野小学校の屋内運動場竣工式は、区民学童総出のにぎやかな式典となりましたが、式後引続いて新しく樹立された校旗の披露や区民の寄付によるステージ幕や備品の贈呈が行われ、全区を挙げてのお祝い気分に湧きました。

運動場平面図



個人個人の自覚と注意で 交通事故防止

安全は　あなた自身が　つくるもの



昨年の村内における交通事故は人身事故だけで一一件発生し、二名の方が亡くなり、一三名の方が怪我をしました。この事故のうち交通事故五悪と言われる無免許等による事故が一件、最高速度違反による事故が二件発生しています。

これを一昨年と比較すると、傷者では一名減少したものの、二名の尊い生命が失われています。

また今年に入っても、既に二件の人身事故が発生しています。

交通事故をなくすためには、個人個人の自覚と注意が必要です。ドライバーも歩行者もお互いに注意して、交通事故をおこさないようにしましょう。

昭和五七年福島県年間重点目標

◇　こどもと老人の交通事故防止

◇　自転車安全利用の推進

◇　シートベルト着用の推進

◇　無謀運転の防止

◇　交通安全シンボルマークの普及（県民から募集し制定する）

棚倉警察署・交通安全協会棚倉支部重点施策

◇　こどもの交通安全対策

交通事故防止コンクール 二四位に終る

昭和五六年・市町村別交通事故防止コンクールの結果が発表され、鮫川村は、Cグループ（人口一万人未満町村）五〇町村中第二四位でした。

本年は、一〇位以内を目標に、交通事故防止に努めよう。

百花乱れ咲く成人式の盛況







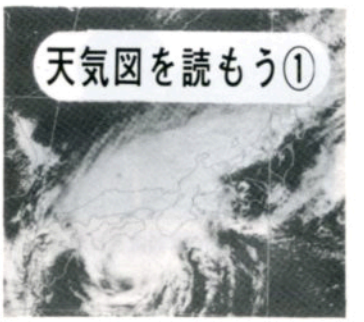
今年の成人の日１月15日は厳寒の季節とも思えない快晴のよい天気。この日成人に達した村の若人は105 名で、男子は真新らしい背広に身を包み、女子は華やかな振袖姿で髪の飾りも美しく、定刻11時には式場の開発センター集会室は百花乱れ咲く花園のような雰囲気に満たされました。

石田村長は成人の意義と権利義務を強調して、新しい社会の構成員となる決意を期待し、芳賀議長はその前途に限りない祝福を祈念する祝辞を贈りました。

新成人の誓いや感想発表に表現された感謝の心や新しい出発に当っての決心気迫もすばらしく、参会者の信頼感を高めました。

どうか身心共に健康で、これからの一日一日を大切に、悔のない充実した青春を送って下さい。

天気図を読もう①



地球をとりまく空気の層（大気）は、地上から約千kmの上空まで広がっています。このうち、わたしたちの生活に影響を与える雨や風などの自然現象は、地上約一〇kmまでの空気の層で起ります。では、予報官はどのようにして天気の移り変わりを予測するのでしょうか。

予報官は、まず、自分たちがどんな空気（大気）の底で生活しているのかを、たくさんのデータを使って調べます。

気象データは、日本はもとより世界中の国が同時刻に同じ方法で調べており、どの国とでも資料交換ができるようになっています。

こうして集められた世界中のデータを基に、気圧の高低、雨の多少、風の強弱、気温の高低などが各地域ごとに、いろいろな種類の図に描かれてます。

ある時刻の、このような大気の素顔を地上面に描いたのが、新聞などでおなじみの地上天気図です。

では、天気図はどのように見ればよいのでしょうか？

例えば、日本列島が**高**としるされた高気圧におおわれている場合は、おだやかな天気の顔で、**低**としるされた低気圧や前線におおわれている日本列島は、雨や強風の機嫌の悪い大気の顔と言うことができます。この大気の〝顔つき〟を知ることが、明日、明後日の大気の変化を知るうえで大切なことなのです。

次に、陸上や海上の観測点には○印がつけられ、その○印の中やそばに晴・雨などの天気模様、風向き、風力などの記号が書かれています。（表1参照）

○印についている棒は、風向きを表し、一六方位で示されています。また風力は風向軸（棒）に向って右側に風力六まで、それ以上の風力については左側に、左右対称になるように記入されています。（表2参照＝棒一本増えると風力は1強くなる）



表―1

天気記号	天気
○	快晴
①	晴
◎	曇
●	雨
⊗	雪
⊙	霧
⊜	煙霧
◒	雷雨
⊕	地ふぶき

表―2

風力	記号	風速m/秒
0	○	0.0～0.2
1	↙	0.3～1.5
2	↙	1.6～3.3
3	↙	3.4～5.4
4	↙	5.5～7.9
5	↙	8.0～10.7
6	↙	10.8～13.8
7	↙	13.9～17.1
8	↙	17.2～20.6
9	↙	20.7～24.4
10	↙	24.5～28.4
11	↙	28.5～32.6
12	↙	32.7以上

保健婦さんの養成
修学資金の貸与

村の診療所、母子健康センター等の施設に助産婦又は保健婦として勤務しようとする方に、その修学に必要な資金の一部を貸与する制度がありますので、希望者は利用されるようお知らせします。

一、修学資金の貸与資格

保健婦助産婦看護婦法第一九条又は同法第二一条の規定による文部大臣が指定した養成所に在学又は在所していること。

二、貸与額

修学資金として貸与する額は、月額三万円以内とする。

三、修学生の義務

修学生は、養成施設を卒業した後一年以内に免許を取得し、かつ免許取得後直ちに村の助産婦又は保健婦に雇用され、その後引き続き次の区分により当該業務に従事する義務を負うことになります。

① 修学資金として一年の貸与を受けた者については、二年以上

② 修学資金として二年又は三年の貸与を受けた者については、四年以上

③ 修学資金として四年の貸与を受けた者については、六年以上

四、修学資金返還の免除

修学資金の貸与を受けた者が三に定めた義務年限を優良な成績で勤務したときは、修学資金の全部又は一部の返還を免除することができる規定になっております。

その他詳細については、住民課保健係におたずねください。

身体障害者巡回相談会

身体障害者の補装具について、巡回相談会が開催されますので、希望者は出席してご相談ください。

(一) 日時　二月二四日　一一時～一四時

(二) 場所　棚倉町公民館一階

(三) 補装具の種類

(ア)肢体不自由者用
義手、義足、車いす、つえ

(イ)聴覚障害者用
補聴器

(ウ)視覚障害者用
盲人安全つえ、眼鏡

その他詳しいことは、役場住民課にお問いあわせください。

任命

一月二五日付で、監査委員（知識経験を有する者）に、緑川操さんが再任されました。

新採用

総務課　管理係　石井　哲

児童手当支払のお知らせ

二月九日が支払日になっている児童手当の各受給者に対し、村では鮫川村農業協同組合の預金口座にそれぞれ振り込みました。

今回の支払は、昭和五六年一〇月分から昭和五七年一月分までの四ケ月分です。なお昨年一〇月分から、村民税均等割のみ課税されている受給者には、先に各該当者にお知らせしたとおり、月額七、〇〇〇円に増額改定されております。

鮫川農協からカーブミラー寄附



鮫川保育所前に設置されたカーブミラー

このたび、鮫川村農業協同組合から、カーブミラー二基の寄附がありました。

これは、農協が行っている共済掛金の還付金で購入され、村に寄附されました。設置場所は、大字赤坂中野字蔦ケ作地内（鮫川保育所前）と大字富田字中沢地内の二箇所です。

ドライバーの皆さんは、カーブミラーが設置されたからとはいえ、危険な場所ですからスピードを出すことなく、すぐに止まれる速度で運転して下さい。

休日の在宅当番区

（2月～3月）

月日（曜）	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
2月7日（日）	薄葉	根本	
11日（木）	大木	厚生病院	
14日（日）	藤巻		慈泉堂
21日（日）	直営診療所	石川	
28日（日）	和田		木村
3月7日（日）	阿部	中島	
14日（日）	藤田	車田	
21日（日）	勝田	根本	
22日（月）	菅原	厚生病院	
28日（日）	薄葉		慈泉堂

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	2月	3月
江竜田～上絆地～木之根～中山～田尻～二反田～反田～彦次郎～前沼～広畑～新宿～湯ノ田コース	可燃物	毎週月・木曜日	1・4・8・15・18・22・25	1・4・8・11・15・18・25・29
	不燃物	隔週月曜日	8・22	8
新宿（新宿橋より）～道少田～宿ノ入～大塩コース	可燃物	毎週火・木曜日	2・4・9・16・18・23・25	2・4・9・11・16・18・23・25・30
	不燃物	隔週月曜日	8・22	8
真坂～茅～酒乗～宝木～水口～宮沢コース	不燃物	隔週水曜日	3・17	3・17・31
越虫～青生野～戸草～蔵の草～宮代～遠ケ竜中沢コース	不燃物	隔週火曜日	2・16	2・16・30
石井草～前田～鬼越～戸倉～舊田～湯野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	毎月第一金曜日	5	5

※ 休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。

※ ゴミは、収集日の朝に出して下さい。